京葉線「幕張豊砂駅」開業　JR東、千葉に25年ぶり新駅

#千葉 #東京 #サービス・食品

2023/3/18 12:18

JR京葉線の幕張豊砂駅は新習志野駅と海浜幕張駅の中間にある（18日、千葉市）

JR東日本は18日、千葉市の幕張新都心にJR京葉線の新駅「幕張豊砂駅」を開業した。同社千葉支社管内の新駅は1998年開業の武蔵野線・東松戸駅（千葉県松戸市）以来25年ぶり。大型商業施設「イオンモール幕張新都心」に近いほか、駅前にはJR東グループのホテルの建設も予定されており、新たな人の流れをつくる。

幕張豊砂駅の開業式典でテープカットする千葉県の熊谷俊人知事（右から4人目）ら

同日午前の開業式典でJR東の深沢祐二社長は「広々とした空間の明るい駅ができた。愛される駅にしたい」とあいさつした。千葉県の熊谷俊人知事は「新都心を訪れ、過ごす人が増えることを期待する」、千葉市の神谷俊一市長は「回遊性の向上など、新駅の効果を新都心全体の発展につなげたい」と述べた。

幕張豊砂駅は京葉線18番目の駅として、新習志野駅（千葉県習志野市）と海浜幕張駅（千葉市）の中間にできた。ホームは東京駅方面の上り線が2階、蘇我駅（千葉市）方面の下り線が1階にある。駅舎に光を通す膜屋根を採用して開放的な空間とし、壁は千葉県産スギを多く使った。

東京駅方面の上り線のホームは2階、蘇我駅方面の下り線は1階にある

千葉県と千葉市、イオンモールでつくる協議会とJR東の協定をもとに整備された。110億円余りの建設費の半分をイオンモール、残りを3者が負担した。駅名は公募で決めた。

18日から「幕張豊砂駅開業まつり」と題して駅や周辺でイベントを開く。デジタルスタンプラリーや駅ピアノの設置などに加え、千葉県は県誕生150年、千葉市は政令指定都市30年の発信に生かす。